

● 一般的な情報システムの場合（原則）

- 1) 情報システムは、クラウド仮想サーバ(VM上)のゲストOSにインストールし、動作すること。物理サーバの導入は認めない。
- 2) 情報システムの入出力データやバックアップデータ等は、クラウド仮想サーバ(VM上)と接続したストレージに格納すること。
- 3) 情報システムは、XenAPP及びシンクライアント環境、IE11及びOffice2010で動作すること。また、基本はWebシステムとするが「XenAPP」へのクライアントモジュール等のインストールが必要なC/S場合は、情報政策課に相談すること。
- 4) 仮想サーバ及びXenAPPのハードウェア及びソフトウェア、WindowsゲストOS、WindowsCAL、ウイルス対策ソフトは情報政策課で用意する。各情報システム側では、ミドルウェア・DBソフト・アプリケーションソフト・クライアントモジュール(ライセンス)を用意し、設定すること。

● LGWAN-ASP型の情報システムの場合（例外）

県内市町村のシステム共同利用、利用回数に基づく課金体系のシステムなど、上記導入方法と比較して著しく安価な場合、LGWAN-ASP型の情報システムの導入を認める。「総合行政ネットワーク ASPガイドライン」(地方公共団体情報システム機構)に定義されるサービス提供事業者の保有するデータセンターを利用するものとし、サービスの提供を行うデータセンターとはLGWAN回線で接続する。

- 1) 情報システムは、XenAPP及びシンクライアント環境、IE11及びOffice2010で動作すること。また、ActiveX等のダウンロードが必要な場合は、情報政策課に相談すること。

